



**主題・スローガン**

- 西宮クラブ会長 「楽しく充実した活動」 浅野純一
- Yサ・ユース 「次世代に向けてYワイズ・YYMCA・Yユースが相互に、  
事業主査 Wウィン・Wウィン・Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」 小野勅紘
- 六甲部部长 「YMCA とのさらなる協働を目指して」 井出 浩
- 西日本区理事 「未来に灯そう希望の光り」  
「互いに認め合おう 世界の友と」 深谷 聡
- アジア会長 「変革のための光となろう」  
「親睦を通して、輝き、力を得よう」 利根川恵子
- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」 ウルリック・ラウリドセン  
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

**2023年  
8月  
904号  
(77期2号)**



**8月 西日本区強調活動 戦略2032**

ワイズメンズクラブ創立2世紀目、100年後を見ずえてスタートダッシュの10年を有意義なものにしましょう。

清水淳 書記 (とやま)

**西宮ワイズメンズクラブ 8月第一例会  
六甲部合同納涼懇親会**

と き：8月5日(土)3時~5時(受付2時30分)  
と ころ：ニューミュンヘン神戸大使館 7F  
受 付：山根泉(六甲部会計) 桑野友子・濱瀬眞知子  
坂東幸子・船橋知子(芦屋)  
司 会：福原吉孝・柏原佳子

1. 開会挨拶 六甲部部长 井出 浩
2. 祝辞 神戸YMCA総主事 井上 真二
3. 食前感謝 森 章一(神戸クラブ)
4. 乾杯 次期西日本区理事 鶴丹谷 剛
5. 会食・歓談
6. クラブ紹介
7. 音楽タイム 大野 勉(神戸ポートクラブ)
8. アピールタイム
9. 閉会挨拶 国際・交流事業主査 柏原 佳子

**HAPPY BIRTHDAY / AUGUST**

- 18日 清水規裕メン
- 19日 馬場一郎メン

**今月の聖句**

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。

ヨハネによる福音書 17章21節  
小野勅紘選

**7月出席状況 (在籍会員数 21名)**

第一例会 (14金)	第二例会 (28金)
メン 14名	メン 9名
メネット 0名	メネット 0名
ゲスト 0名	ゲスト 0名
MU 1名	計 9名
合計 15名	出席率 71.4%

**ファンド**

	7月	累計
ニコニコ	¥3,000	¥3,000
BF	¥4,200	¥4,200

会長 浅野 純一 直前会長 濱 浩一 副会長(次期会長) 濱崎 進一 副会長 足立 康幸  
書記 山口 吉郎, 小野 勅紘 会計 濱崎 進一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介  
Yサユース事業主査 小野 勅紘 組織検討安全対策委員 山口 吉郎 次期六甲部長 小野 勅紘

# 会長メッセージ

会長 浅野 純一

8月になりました。高校教師であったころ、8月は部活動の仕事、研修会への出席、補習、それに2学期の授業準備と結構忙しくしていましたが、正直言ってほっと一息



ついていました。かなり以前ですが、街中で2人の主婦が「なんで7月と8月は31日まであるのだろう」と話しているのが聞こえてきました。「こどもさんが一日中家におられるのは大変なことなんだ。そして子育ては大変な仕事だな」と感じました。私は教員時代、8月末になると緊張感が出てきて胃が痛くなりました。ただし、2学期が始まれば胃の痛さはなくなるのですが。ところで、カレンダーのことに寄稿欄で世界史の授業で取り上げたことを書かせていただきました。YMCAのスタッフの方々は学校とは反対に学童保育などで、1年で最も忙しくされていると思います。酷暑の中、くれぐれもお体を大切にしてください。

8月になると多くの方々と同様、どうしても戦争のことを考えます。わが国は先の15年にわたる戦争で、軍人230万人、また米軍の66都市への絨毯爆撃等で50万人以上、その他国外でも民間人30万人が亡くなりました。私に関して言えば、叔父と義理の叔父がともに中国で戦死しました。私は父の遺志を継いで、兵庫県遺族会の一員として毎年8月18日には神戸護国神社の頌徳(しょうとく)祭に出席し、戦争で犠牲になられた方々の御霊にささやかな祈りをお捧げしています。

戦争は絶えることなく、現在もウクライナがロシアから不条理な戦争を仕掛けられています。その他いくつかの場所で局地戦が展開されています。「法の支配」を基とする国内社会と異なり、国際社会は「力が支配する社会」です。戦争は紛争を解決しようとする際の手段となり、勝者が正義で、敗者は罪を

背負うことを強いられます。先の大戦では日本は被告席に座らされ、悪いことをしたと一方的に断罪されました。いまさらの感想ですが、世界史は戦争の歴史です。せん無いことを言います。戦争をなくするにはどうすべきか。

ドイツの哲学者カント(1724~1804)は1795年『永遠平和のために』を著わしました。それは国際連盟の成立に大きな影響を与えました。カントは、どこにも行かず一生涯ケーニッヒベルクというドイツのバルト海沿岸の町で思索を重ねました。その町は第二次世界大戦で旧ソ連による激しい攻撃を受けて占領されカリーニングラードとなり、現在はロシアの飛び地となり、対NATOの前線基地になっています。なんとも皮肉なことです。

## 7月例会報告

阪根 新

とき：2023年7月14日(金)19:00~20:30

ところ：西宮YMCA3階会議室

ひと：浅野、石井、岩田、小野、重村、濱、濱崎、広瀬、藤原、万本、森川、山口、岡田、阪根14名  
ドライバー：岡田メン(司会)、阪根(記録)

今期最初の7月例会、キックオフ例会は、濱前会長の開会点鐘に始まり、ワイズソング、小野メンの聖句朗読、開会のお祈り。

続いて、小野メンの司式により会長引き継ぎ式が厳かにとり行われた。濱前会長の会長心得の説明、浅野新会長の宣誓、会長バッジの交換と無事終了。



浅野会長から「西宮ワイズの15年を振り返り、いろいろな分野、地域の多くの方との出会い、交流は、楽しく、有意義なものであった。この1年も、

多くの方が楽しく参加していただくことを基本とし、原則会食をやめ、2時間の例会を短縮、費用もより有効に活用し、ファウンド活動や種々の行事もいろいろ工夫したい。皆さんの協力をお願いする」と所信表明があった。

続いて次期会長、現副会長の濱崎メンから順に出席者全員が、それぞれの役に対する抱負と挨拶。小野メン…次期の六甲部長の大役は、皆さんの協力無くしては務まらない。積極的に手伝っていただきたい。岩田メン…カーニバルも形が変わると聞いている。皆で対応したい。広瀬、藤原メン…体調に気を付け、年相応に頑張りたい。石井メン…チャリティーランも復活が見込まれる。神戸Yの会員増強委員も仰せつかった。皆さんの協力のもと頑張る。岡田メン…西宮Y'sも喜寿(創立77年)自宅が遠いが、若いつもりで頑張る等力強いスピーチがあった。

続いて、濱崎会計から、前期の会計実績、今期の予算案が提示され、実績については阪根監事から、適正に処理されている旨報告があり、承認された。



今月の誕生日は、岩田・濱崎メネット、藤原メンの3人。

ワイズニュースでは、8月の山口ドライバーから、8月第1例会を、8月5日(土)15時、神戸ミュンヘン大使館の六甲部納涼例会を充当すると報告があった。

森川担当主事のYMCA ニュースで予定の議事は終了したが、濱メンから、9月8日(金)第1例会予定日に、5月広島での交流会、広島球場の野球観戦が雨で中止となったため、改めて甲子園球場で実施したいので検討願いたいと動議があり、検討した結果、8日は交流行事、第1例会を15日に変更、第2例会は予定通りに実施することとなった。(詳

細は浅野会長のメールによる説明参照方)濱メンの労をねぎらい、全員の協力が確認され、浅野会長の閉会点鐘でキックオフ例会は閉会。小野、森川メン会場設営有難うございました。

## 23-24年度 第1回六甲部評議会の報告

浅野 純一

7月15日(土)午後3時から、本年度第1回六甲部評議会が神戸 YMCA チャペルで行われました。いつものことですが成立に必要な3分の1の出席者を確保できるのか冷や冷やしましたが、何とか成立しました。

今年度は神戸クラブが執行部を担当します。美崎書記の司会で会が進行され、前年度の直前部長及び決算報告のあと、井出部長が方針を、次いで山根会計担当より予算案が示され承認されました。

次いで事業主査が方針を述べました。西宮クラブからは小野メンがYMCAサービス・ユース事業主査を務めますが、メンは「YMCA・ユース・ワイズメンズクラブの三者が支えあって発展していこう」と訴えかけました。次いで各クラブ会長がクラブ方針を述べました。私は「どうも西宮クラブは目立った活動はしていないと思われるようです。直前部長の総括にも西宮の名前はありませんでした。私は目立つことはせずに、まずはクラブの皆さんが楽しく過ごせるクラブにする」と述べました。

休憩を挟んで議案の審議がありました。第1号(議案)は、若林直前部長の「神戸YMCAに10万円の支援金をする」とのことです。このなかで資金が余ったからとの発言がありましたが、私はそれならば「部費(年間1人当たり1,500円)を下げることを今後検討してほしい」と発言しました。第2号は鶴丹谷次期西日本区理事より「来年度の区大会の開催場所・日程・ホストクラブを承認する」件です。「場所はANAクラウンプラザホテル、日時は2025年6月14日~15日です。ホストクラブは神戸クラブ、他の6クラブは協カクラブ」との原案です。それに対して「六甲部7クラブがホストクラブであるべき」との修正提案があり承認されました。なお、私は保留しました。

第3号はポートクラブの大野ワイズから「理事を

支援するために今後 3 年間、毎年 1 人当たり 1,000 円を徴収する」との提案です。私は「徴収するのではなく、クラウドファンディング方式で支援すべき。また提案があまりに急である」と反対意見を述べました。私の発言に対して支持があり、各クラブで意見を聞く必要がありとのことで継続審議となりました。また第 4 号は、先に記しましたが、毎回の評議会では成立のための出席者の確保に苦勞しますが、それに関して、本クラブの小野メンが「委任状を認める」との提案を行いました。これは難しい問題があり、「あくまで現行を維持すべき」との意見もあり、さらなる検討が必要とのことで継続審議となりました。会は順調に進行しましたが、第 3・第 4 号の審議でかなりの時間を要し、予定時間を約 20 分延長して終了しました。

西宮クラブからの出席者は浅野、小野、馬場貴英、濱、濱崎、万本の各メンです。ご苦勞様でした。

## 『山口徹さんお別れ会』に出席して

山本 常雄

去る 7 月 22 日の土曜日、本年 2 月 3 日にご逝去された山口徹神戸ワイズの「お別れ会」が神戸栄光教会にて開催されました。山口氏は神戸 YMCA 総主事を 1992 年より 10 年間務められ、その間阪神淡路大震災発生時には神戸 YMCA としてボランティアを中心としたその復興支援活動を確立・推進されました。

コロナ下で連絡が疎遠になっている最中での出来事であり、皆さん十分なお別れの時間も持てませんでしたが、このたび武田寿子神戸 YMCA 名誉理事や井上真二総主事、安行英文国際ロータリー 2680 地区ガバナー（元さんだワイズ会員）他多くの発起人のご提案でこの会が開催されることになり 200 名を超える YMCA やワイズ関係者、リダ - OB - OG。ロータリー他関係団体関係者が集い、厳かに執り行われました。

最初に甲南教会山田牧師の司式による追悼礼拝が行われ続いてハンドベル演奏の後、お別れ会が始まり、若き日の 1-リダ - 時代の勇姿や阪神淡路大震災復興期のご活躍が映像で紹介されました。

そのあと、多くの公職について居られた関係もあ

り安行英文さん、小田和博さん(県ミニバスケット連盟理事長)、速水順一郎さん(県青少年団体連絡協議会顧問)、井戸敏三さん(前兵庫県知事)ら 4 名の方々がそれぞれの団体を代表して思い出を語られました。

その後しばらくの間ハンドベルの静かな演奏に心鎮めて黙想の時を持ちました。

最後に 60 有余年公私に亘り苦樂を共にして来られた大親友の柳谷利起さんが友人代表として直近の山口家のご様子等お話しされお開きとなりました。

西宮クラブ関係では、浅野会長。石井、岩田、岡田夫妻、小野、馬場(貴)、濱夫妻、濱崎、廣瀬、藤原、山本の 13 名と山口洋子さんが参加しました。

## YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

今年の夏も暑い毎日が過ぎていきます。1 日保育が続く育成センターでは、熱中症指数を基に外遊び実施の判断を行っています。また 10~15 分ごとに休憩をはさみ、暑さ対策を行いながら外遊びをおこなっています。

育成センターにおける子どもたちの経験では、夏遊びが重要な役割を果たします。夏休み期間中に様々なアクティビティやイベントが計画され、子供たちは健康促進とリフレッシュを図ることができます。屋外遊びや水遊びを通じて運動が促進され、ストレスを軽減し、新しい友人との交流も深まります。また、夏休み中に行われるデイキャンプやものづくりの活動などは、創造性を刺激し、子どもたちの自己表現の場となります。また、社会的スキルやコミュニケーション能力を向上させ、自信をつけることにも繋がります。子どもたちが楽しみながら成長し、思い出に残る夏を過ごすことができるように一つ一つの関わりを大事にしていきたいと思います。

### 1.地域イベント

去る 7 月 23 日(日)に西宮 YMCA に関わる地域の方を対象に地域イベントが行われました。26 組の家族とスタッフで約 80 名の参加となりました。みんなが和むゲームをした後、水鉄砲遊び。それぞれが帽子にポイをつけて、撃ち合いました。子どもも大人も大声をあげて楽しむことができました。



## 2.今後の予定

### こどもカーニバル

日時：10月28日（土）

内容：コロナ前はYMCAに携わる方々が集う機会として実施してきた西宮YMCAカーニバルですが、今年度は『こどもカーニバル』として規模を縮小して西宮YMCAの会館で開催する予定です。

## 寄稿(暦のこと)

浅野 純一

先月の福島原子力第一発電所の見学記に続いて、また寄稿させていただきます。今回は「暦」についてです。

明治時代以降、現在の私たちが使っている暦はローマ時代につくられたものです。最初のローマ歴は1年10ヶ月で304日、冬に人々は活動することではなく、従って暦は必要としませんでした。年の始まりは日差しが感じることができる初春で、1月はローマ建国の英雄ロムルスの子である軍神マルス(マールス)に因んでマルティウスと名付けられました。次いで2月はアプリリス、3月はマイウス、4月はユニウス、5月はキンティリス、6月はセクステリスで、以上は神の名が由来です。なお、4月のユニウスは神ユノーが由来で、ユノーはユピテル(ジュピター)の妻で結婚の女神で、4月は結婚が祝福される月になっています。当時の4月は現在の6月で「ジューンブライド」という言葉があります。次に7月はセプテンベル、8月はオクトーベル、9月はノヴェンベル、1年の最後の10月はデケンベルで、ラテン語の数字(7・8・9・10)が由来です。

その後やはり冬にも暦があった方がよいということで、前710年のタルキニウス暦では1・2月を取り入れました。1月を「はじめを司る神ヤヌス」に因んでヤヌアリウス、2月を贖罪の神フェブルアリアに因んでフェブルアリウスと名付けました。そして、1月のマルティウスは3月になり、以下、順送りです。例えば、現在のセプテンバーは9月ですが、元は7月ということです。

共和政の末期に英雄カエサル(前100～前44)が登場しました。ユリウスとも或いは英語的にジュリアス・シーザーといひます。カエサルはエジプトに遠征した時に先進のエジプト文化にふれます。その代表が太陽暦で、彼の時代にローマ歴は3ヶ月も季節とのずれがでていました。エジプトの暦学者を招いて歴法を改め、1年を365.25日の太陽暦を制定します(ユリウス暦)。奇数月を大の月として31日、偶数月を小の月として30日としました。なお、当時のローマの人々は日常生活では依然として3月を年の初めとしていましたが、ユリウス暦で正式に1月と2月を継ぎ足し、継ぎ足した2月を29日としました。そして、カエサルは自身の誕生月の7月を、彼の偉業を示すためにキンティリスを「ユリウス」(英語でJuly)と改めました。

ライバルを倒し、独裁化したカエサルですが、ブルータスらによって暗殺されます。カエサルにはクレオパトラとの間に2人の子どもがいたのですが、後継者としていたのが甥の息子のオクタウィアヌスです。彼はライバルアントニウス(クレオパトラと恋仲になった)を倒してローマの支配者となりました(帝政ローマの成立)。彼はアウグストゥス(尊厳者の意)と名乗り、初代ローマ皇帝となりました。アウグストゥスはユリウス暦に少しの誤りがあり、歴法の改訂を行いました。その際に彼の栄光を示すために、トラキア及びアクティウムの戦いで戦勝した8月をアウグストゥスと名付けました(名付けた理由には異説あり)。そして、8月を大の月としました(会長メッセージで記したお母様方が嘆いた7、8月が31日と続くのはそのためです)。8月以降の9・11月は小の月に、10・12月が大の月となり、8月が大の月になった余波で2月が28日(閏年を除く)となりました。現在使用しているのは、1582年制定のグレゴリオ暦で、閏年が若干訂正さ

れたものです。なお、週が導入されたのはコンスタンティヌス帝(在位 306～337)によってローマ帝国でキリスト教が公認されて以降のことです。

参考資料

NHK市民大学 永田久(当時 法政大学教授)「時と暦の科学」 1989.10～12月期  
世界の歴史2 ギリシアとローマ 村川賢太郎 編集 中公文庫 1974 p317～318  
ウィキペディア 「アウグストゥス」 2014.11. 18

## ワイズニュース

【今後の予定】

8月5日(土) 六甲部合同納涼懇親会(第一例会)

ニューミュンヘン神戸大使館

8月25日(金) 第二例会

9月8日(金) 特別例会 甲子園球場野球観戦(DBC)

9月15日(金) 第一例会

9月16日(土) 山口政紀さんを偲ぶ会 賀川記念館

9月22日(金) 第二例会

9月30日(土) 六甲部部会 神戸倶楽部

## 聖句に寄せて

小野 勅紘

この聖句は皆様もよくご存知の、ワイズメンズクラブ国際協会のロースターの冒頭に掲げられている「国際聖句」です。かつて数年前の神戸 YMCA の年間聖句でもありました。

この聖句はわたしたちの信仰の真の姿勢をよく表している聖句ではないでしょうか。一般的に集合体として皆が信仰されているからクリスチャンであると思われていますが、イエス・キリストが十字架に磔けられて、今まさに死を迎えようとしたときに「主よ、なぜわたしをおみ捨てになったのですか」と問い掛けた姿勢がそのものがこのことを語っています。わたしたちはあの人信仰しているからとか、皆が信じているからと捉え勝ちですが、この聖句のように「私一人」と「あなた(神様)」とが内におられて、1体1で語り合っている姿なのです。

従って、自分と他の人とはその関係が違います。自分の内なるところに神様がいた(発見)した人のみが神様と語り合えるのです。このことは遠藤周作の小説やその映画に中でも、これでもかと描かれています。(遠藤周作はこの作品でカトリック教会から除名の憂き目にありますが、その後和解して

います)

自分の内に神様や仏様を見つけだせた人のみが信仰の経験を持つことが出来るのです。わたしと他の人とでは信仰の姿が違います。そしてさらにヨハネによる福音書15章16節にあるように「あなたがたがわたし(神様)を選んだのではない。わたし(神様)があなたを選んだ。」とあります。神様に選ばれて自分の内なるところに神様が現れた人のみが経験出来ることが真の信仰なのです。



マリーゴールド

### 編集後記

ブリテン委員 山口 吉郎

★今月の第一例会は独自開催ではなく、六甲部の納涼懇親会に便乗させていただきます。ドライバがさぼったともわれますが、会議室での基本例会も大事ですが、猛暑の夏には涼しいビアホールで生ビール片手に懇親を深めるのも大切かと。★コロナが5類に移行してから約3ヶ月、気が付くといろいろな飲み会が復活。学校や会社の同窓会等々、4年ぶりに再会できる機会が増えました。★一方身近な知人がコロナに感染したとよく聞きます。まだまだ注意が必要です。★マスク着用は個人の判断となりましたが道行く人を見てると多くの方が着用されています。猛暑の中マスクをするのは大変ですが・・・★浅野会長の暦のお話。ローマ時代、我が国は弥生時代で随分と差があるなと感じました。